

# 財政状況の公表（令和4年度上半期）概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

## 令和4年度予算のあらまし 一般会計「補正予算第1号から第5号」の概要

補正額 139億1,909万円

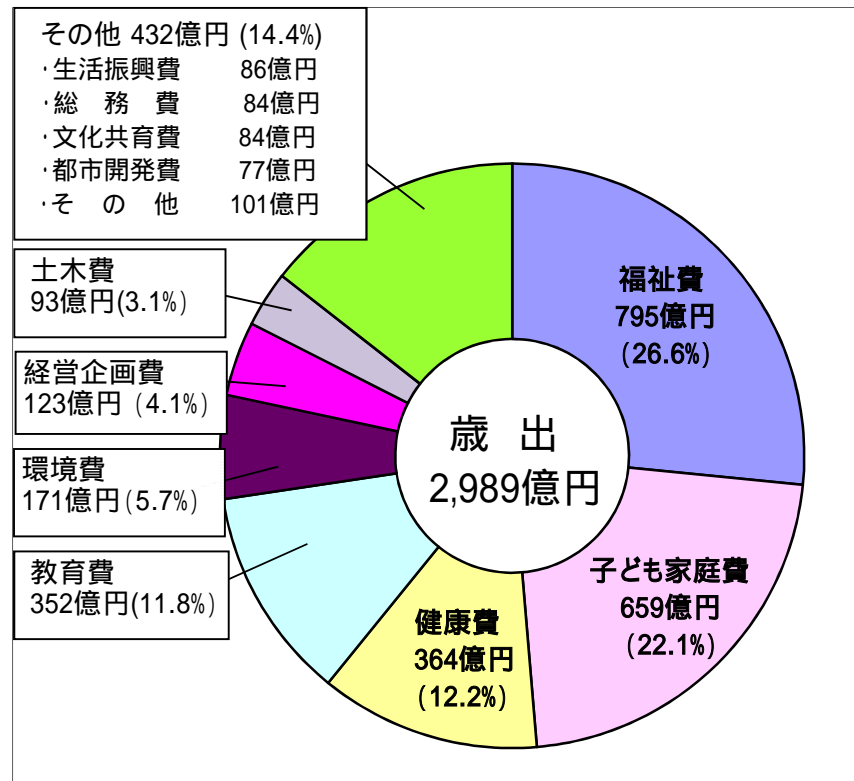
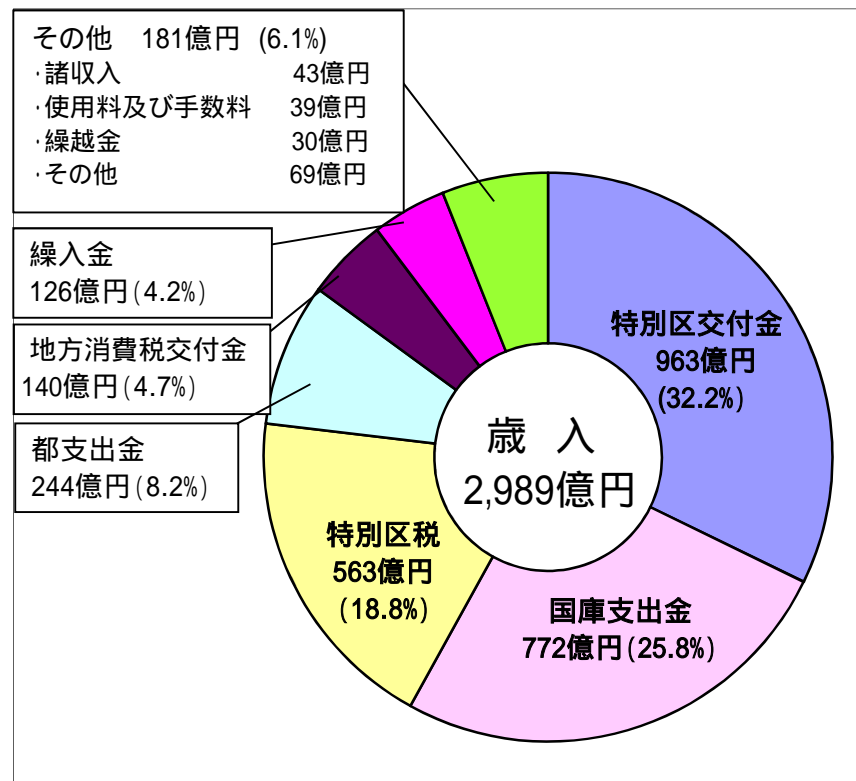
### <歳入>

国庫支出金	100億3,228万1千円
都支出金	29億4,619万2千円
繰越金	8億9,297万1千円
諸収入	3,355万1千円
寄付金	1,007万1千円
繰入金	392万7千円

### <歳出>

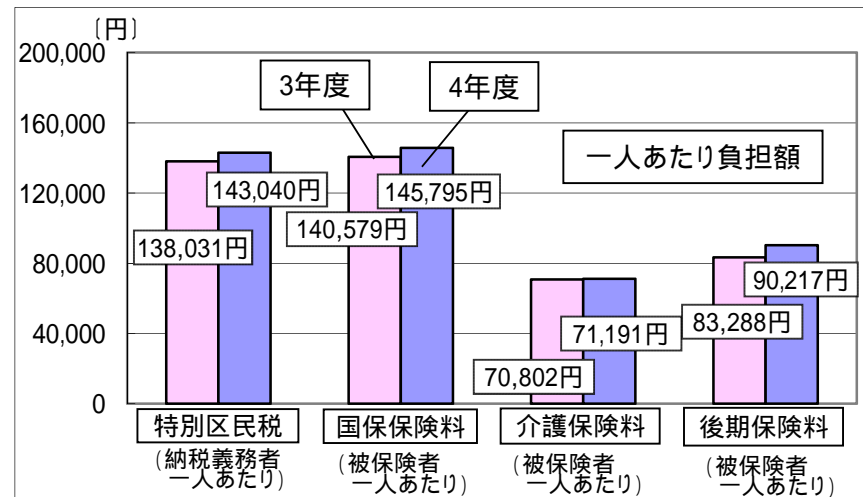
新型コロナウイルスワクチン接種対策費	71億1,629万5千円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費	15億円
新型コロナウイルス感染症対策関係費	8億7,777万5千円
生活応援事業事業費	5億2,000万円
子育て世帯(ひとり親世帯以外)生活支援特別給付金給付事業費	4億6,750万円
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	4億3,285万円
その他	30億 467万円

## 補正後の一般会計予算の構成

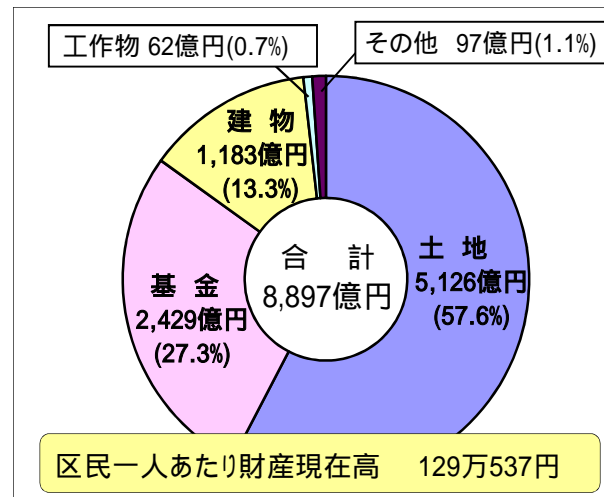


江戸川区の人口(住民基本台帳人口 外国人を含む) 689,380人(令和4年10月1日現在)

## 区民の負担概況 (令和4年9月30日現在)



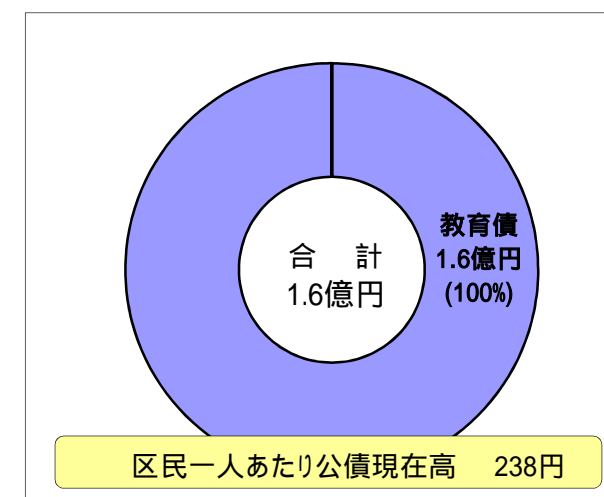
## 財産の現在高 (令和4年9月30日現在)



### 基金とは...

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金は、この2つの合計です。  
積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、9月末現在高は2,224億円です。  
運用基金は、一定額の基金を土地取得等のために運用するもので、205億円あります。

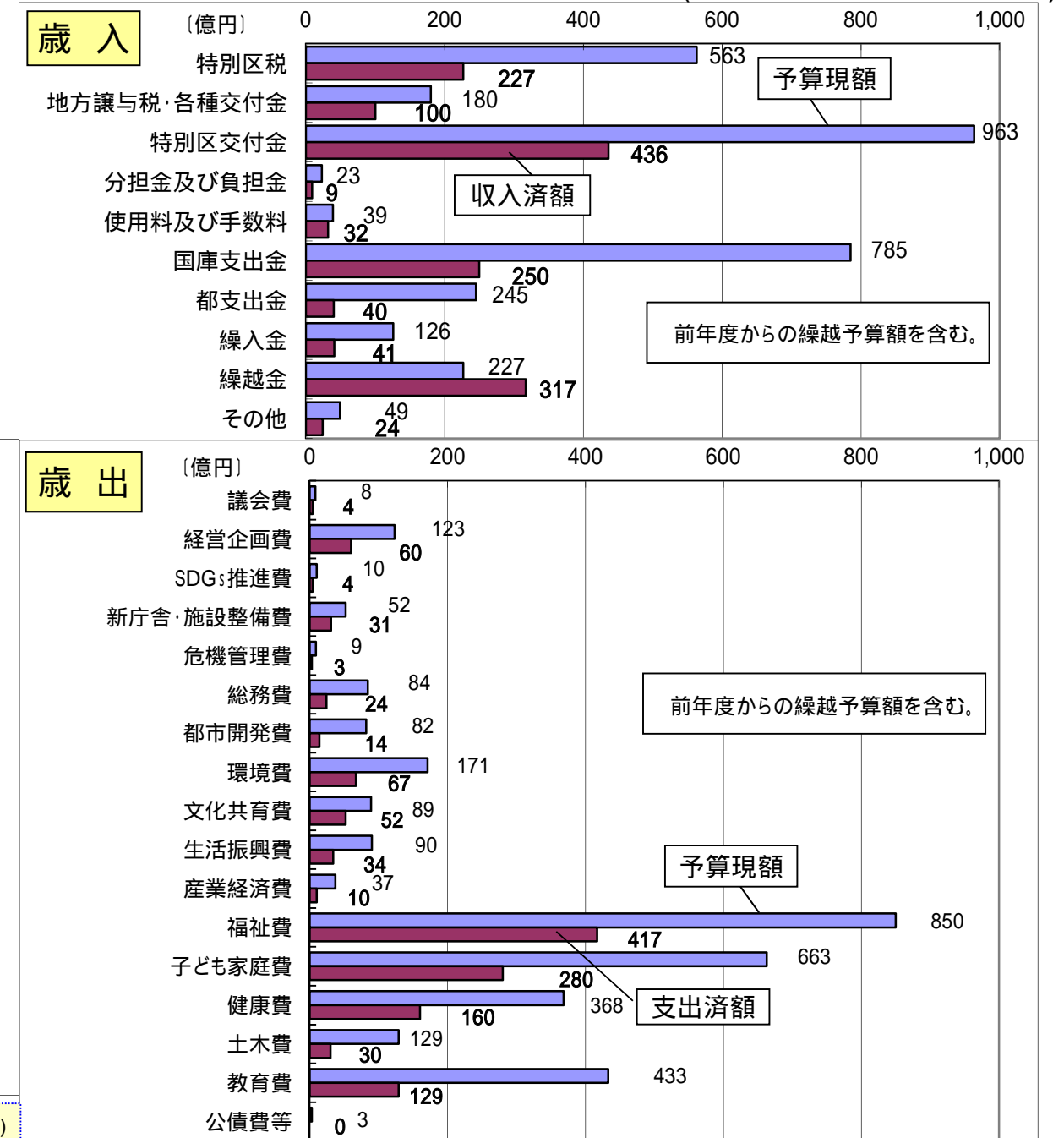
## 公債の現在高 (令和4年9月30日現在)



### 公債(区債)とは...

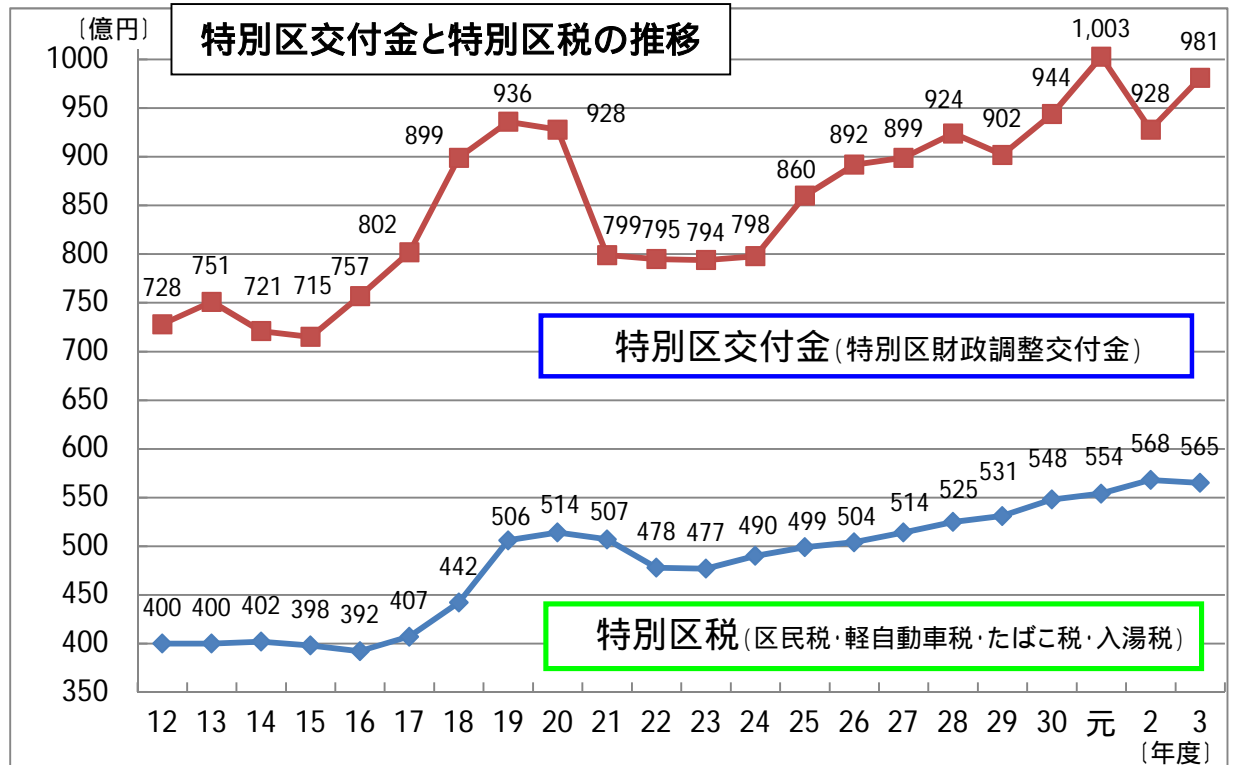
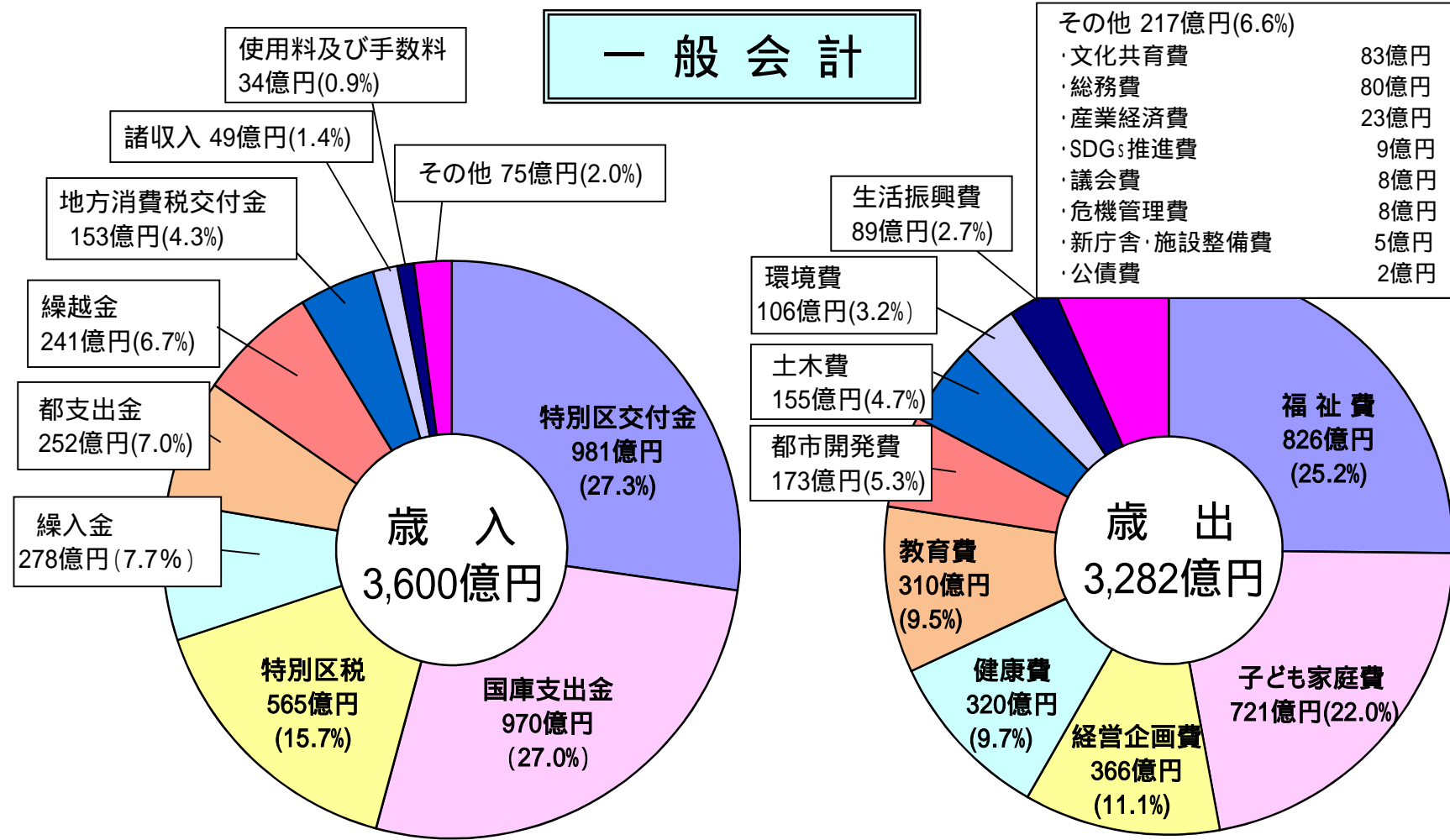
家計でいうと借金です。学校の改築や道路の整備などにおいて、将来これらを利用する区民の方々にもその費用の一部を負担して頂くため公債を借り入れ、負担の公平を図っています。  
令和元年度には、健全財政を堅持しつつ、繰上償還を行い、将来世代への負担を軽減しました。

## 令和4年度予算の執行状況 一般会計(令和4年9月30日現在)



# 令和3年度 決算の概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。



特別区交付金は、企業収益の回復等により前年度に比べ増加しました。特別区税は、新型コロナウイルス感染症の影響でやや減少しました。

## 歳出の性質別内訳

生活保護、障害者や熟年者への手当、保育所経費、医療費助成など福祉的な給付経費

物品の購入、仕事の委託などの経費

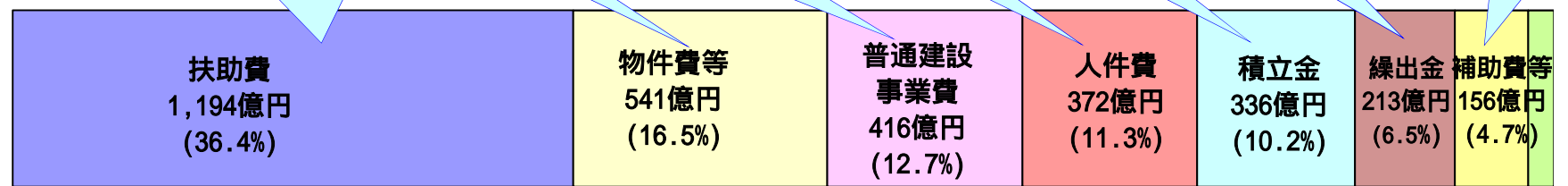
道路や公園、区民施設の整備や用地取得などの社会資本形成に使われる経費

職員の給与、退職金、委員の報酬などの人に関わる経費

基金(特定目的のための資産)への積立に使われる経費

国民健康保険介護保険など特別会計を支える経費

幼稚園保育料の補助や融資の利子補給などの経費

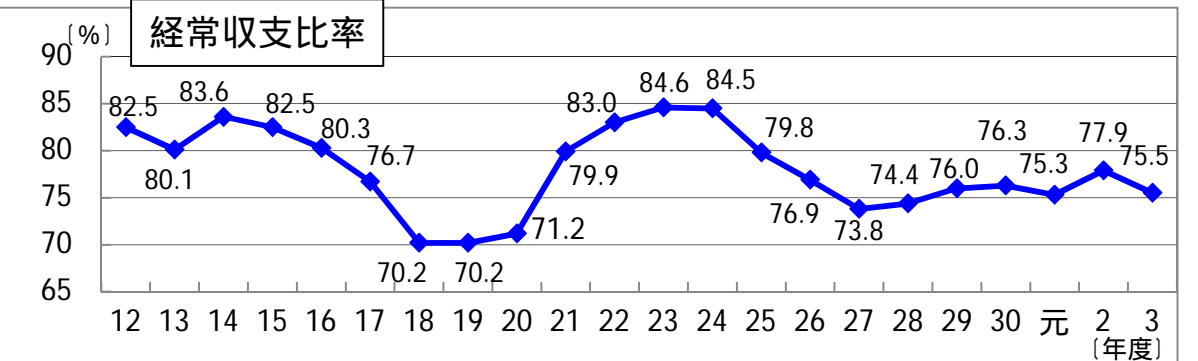


## 令和3年度決算に基づく健全化判断比率

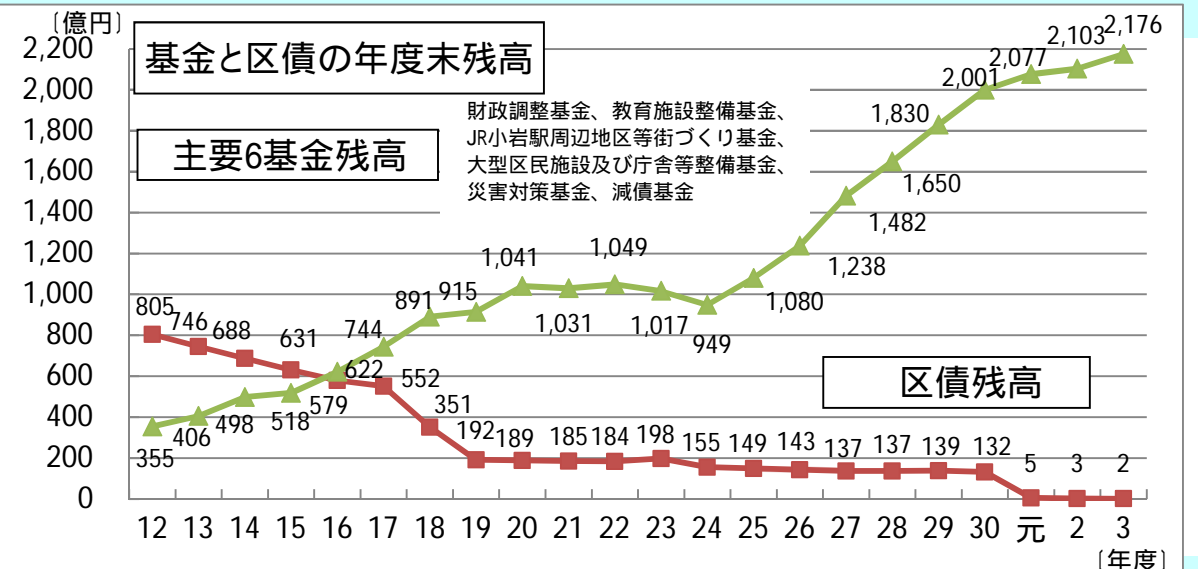
区の財政状況は極めて良好で、将来的にも健全な状態です。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
江戸川区	-	-	5.7%	-
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

表中の「-」はマイナス値を表し、令和3年度決算が黒字であったこと、将来負担すべき額よりも基金(貯金)の方が多く、将来負担比率の該当がなかったことを示しています。なお、実質公債費比率がマイナスの場合は「-」と表示しています。早期健全化基準とは、この数値を超えると財政が危険な状態であることを示す、国が定めた指標で江戸川区の場合の指標を記載しています。



財政構造の弾力性を計る指標で、適正水準は70%~80%です。令和3年度は、前年度から2.4ポイント下がり、9年連続適正水準の範囲となりました。



主要6基金残高は、前年度より73億円の増加で2,176億円となりました。なお、その他積立基金、運用基金を合わせた金額は2,429億円となりました。区債残高は、前年度より1億円減少し、2億円となりました。